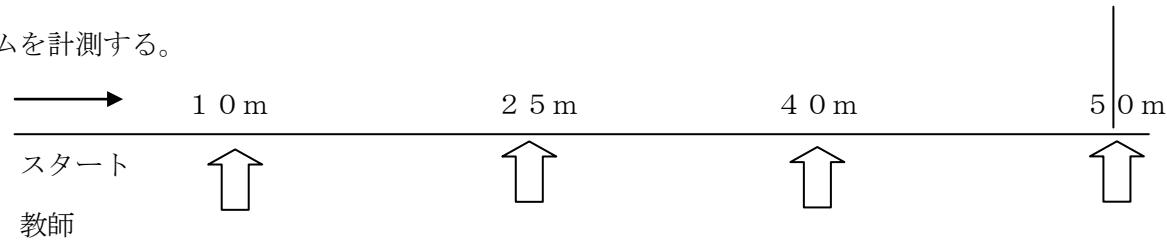


記録計測の工夫と計測の仕方

自分の走りの特徴を知るために、それぞれの時間の、最初の計測では50mの途中とゴールを含め数カ所で通過タイムを計測する。



- スタートは全コース一斉に教師が行い、計測者全員がストップウォッチのスタートボタンを押す。
- 10m、25m、40m、50mの地点において、記録を計測する。50mの地点には、決勝柱を置く
- ゴールまでの計測箇所では、走者の脚部がラインを越えたときストップウォッチのストップボタンを押す。
- 記録を書き込みやすいように、また記録を比較しやすいように学習カードを工夫する。
- 毎時間、PCによるグラフを貼る欄を作る。
- グラフは各区間の速度を、トップ、平均、自分の記録で表示し、児童一人ひとりが50m走の自分の課題やめあてが持てるようにする。

例

日付	／	／	／	／
10m	秒	秒	秒	秒
25m	秒	秒	秒	秒
40m	秒	秒	秒	秒
50m (ゴール)	秒	秒	秒	秒